

## 【選考結果】

次期北里大学病院長：高相 晶士（医学部教授）

## 【選考過程】

- (1) 2021年3月11日（木） 北里大学病院長選考規程に基づき、次期北里大学病院長選考委員会で選出された3人を最終候補者として理事長に推薦。
- (2) 2021年4月1日（木） 第1回 病院長等選任準備委員会
  - ①委員長の選出
  - ②病院長等選考に係るスケジュールの決定
  - ③病院長等最終候補者に対する面接の進め方の決定
- (3) 2021年4月17日（土） 第2回 北里大学病院長選任準備委員会
  - ①最終候補者3名による所信表明に係るプレゼンテーション及び質疑応答を実施
  - ②北里大学病院長最終候補者1名を選考
  - ③氏名及び現職名を学内に公表するとともに、2021年5月21日開催の定例理事会に付議

## 【選考理由】

同氏は、2010年10月に北里大学医学部並びに北里大学大学院医療系研究科の教授（整形外科学）に就任後、2018年7月に北里大学病院の医療支援・渉外担当副院長に任命され、現在に至っている。

同氏は、医療支援・渉外担当副院長としての経験を活かし、北里大学病院スマート・ホスピタル構想などの実現に向けて、将来的ビジョンを明確に掲げていること、また、医療経済に関する認識も高くPFMについても率先して推し進め、地域医療機関との連携を深めていること、さらに医療安全管理についても「患者安全を第一に考える姿勢及び指導力」を発揮し、特定機能病院の管理運営に対する貢献も期待できることなどが挙げられる。

一方、北里研究所将来構想（中期計画）検討委員会では、病院部会長として、病院群の問題点を把握し、リーダーシップを発揮して病院群の在り方についての答申を取り纏めるなど、今後、病院群運営協議会議長として3病院の抱える問題解決に向けても期待できる。

以上、これまでの実績から特定機能病院としての管理運営上必要な資質・能力を有し、病院長としてのマネジメント力について申し分ないこと、また将来に向けてのビジョンからも、リーダーシップを発揮し、職員を共通目標実現に向けて牽引できるものと期待できることから、北里大学病院長選任準備委員会において、出席委員の合議のうえ次期北里大学病院長として高相晶士氏が最も適任であると認められた。

以上